

# 交野市少年少女野球親睦交流大会 大会規定

- 試合方法 ◎ 試合はトーナメント方式で行う。
- 規則 ◎ 本年度公認野球規則及び本大会規定により行います。
- 時間制限 ◎ 試合は6回戦 85分を過ぎて新しいイニングに入らない。  
3回以降10点差、5回以降7点差が生じた時は、コールドゲームとする。  
尚 同点の場合は封筒による抽選を行う。「時間内タイブレークは行わない」  
試合終了時に出場していた選手9名がシート順に並び先攻チームより交互に抽選を行う。  
監督は自軍の抽選カードを受け取る。
- 投球制限 ◎ [投球数制限]を採用します。  
連盟主催試合において「投手は 1日 70球以内の投球」とします。(70球以内なら野手からの再登板可能)  
(試合中に70球に達した場合、その時の打者が打撃を完了するまで投球できる)  
タイブレークになった場合、1日の規程投球数以内で投球できる。
- 決勝戦 ◎ 決勝戦は、90分を超えて新しいイニングに入らない。 得点差によるコールドゲームは採用しません。  
但し 決勝戦終了時 同点の場合 タイブレーク方式を行う。  
《タイブレーク方式》  
継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、の走者は順次前の打者とする。すなわち、0アウト一塁、二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。(合計 2イニングまでとタイブレークでも勝敗が決定しない場合は抽選とする。
- 使用球 ◎ 大会使用球(マルエス J球)は大会本部で用意する。
- ホームベース ◎ ホームベースは一般用を採用します。
- 試合 ◎ 危険防止のため、捕手は捕手用ヘルメット、マスク(スロートガード付)、レガース、プロテクターを着用し、打者、走者、ランナーコーチ共に、ヘルメットを必ず着用すること。  
(メガホンは各チーム1個とする。)
- ◎ 監督は、選手と同一のユニホームを着用し、背番号は30番をつける(ストレートパンツは不可)
- ◎ 抽選番号の若いチームを1塁側とし、ベンチには監督・指導者を含め、合計 5名以内及び登録選手20名以外は入れないものとする。(熱中症対策スタッフは女性 2名以内が入れます)
- ◎ ベンチに入る指導者は必ず選手と同一の帽子を着用のこと。
- ◎ 試合開始予定時刻20分前に到着し、本部へメンバー表4通を提出すること。  
(メンバー表には控え選手も記入する)(連合チームは背番号が重複しないように)(4年生は背番号を○で囲む)
- ◎ 日没、降雨の場合は4回をもって成立とする。  
(中止、決行は審判団の判断とする)
- 審判 ◎ 審判は3審制とします。(本部で行います)
- 抗議 ◎ 試合中の抗議は、監督及び当該プレーヤーのみとし、抗議は1分以内で処置することを原則とし審判団協議の上、決定後の再抗議は認められない。  
但し 審判団協議がルール上の問題等で、1分以上経過したときはロスタイムを採用する。
- ◎ 試合中は監督、コーチ、選手は理由なく又は許可なくベンチを出てはいけません。(再入場出来ない場合あり)
- ボーク ◎ 1回目から採用します。
- DH制 ◎ 全軟連通達により採用します。(詳細は2024年版競技者必携による)
- スピードアップ ◎ 監督の作戦タイムは攻、守それぞれに 3回、選手間の作戦タイムは攻、守含めて 3回以内とする。  
(相手のタイム中に自チームの選手を監督が呼んだ場合は 1回とする)  
投手の投球練習は初回及び交代時は7球以内、その他は3球以内とする。
- マナーアップ ◎ 試合中のベンチ内での喫煙は禁止する。  
声援・応援はスポーツマン精神にのっとりヤジの個人攻撃は禁止する。  
応援団の言動・行動にはチームが責任をもって指導すること。鳴り物等による応援は禁止する。
- 負傷 ◎ 試合中における傷害については、主催者は応急手当をする他は一切責任を負わない。
- その他 ◎ 雨天の決行、中止は午前7時00分に決定するが、第一試合のチームは出発までに連絡ができない場合もあるので、グラウンドに定刻通り集合すること。(運営も同様)
- ◎ 万一棄権のときは、チーム指導者が時間までに必ず運営本部に連絡にすること。